

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣南高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月19日(月) 13:25~16:00
- 3 開催場所 大垣南高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
会長 竹内 治彦 元岐阜協立大学学長
委員 五十川智宣 大垣ケーブルテレビ取締役、同窓会副会長
今村あおい (株)新生メディカル取締役社長
川瀬 尚志 大垣南高等学校育友会会長
小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長、元岐阜大学教育学部教授
小山亜希子 (社福) 楽山・杜の会理事
酒井 吾郎 洲本連合自治会長
竹中 拓也 太平洋工業株式会社人事部主査(欠席)
藤田万喜子 岐阜聖徳学園大学教育学部教授
三輪 賢司 岐阜県公民館連合会会長、元岐阜県小学校校長
オブザーバー 伊藤 秀光 岐阜県議会議員(欠席)
学校側 川瀬 英樹 校長
滝 一男 教頭
古山 晴美 事務長
今枝 誠 教務課長
西脇 一徳 生徒指導課長
折山 真生 進路指導課長

5 会議の概要

(1) 授業参観について

意見1: 学年によって授業の形の多様さが異なった。もっとICTを活用してもよい。

意見2: ICTを活用して、多くの意見を集約していく形が時流に乗っており印象的だった。多数の意見だけでなく、少数の意見も紹介していてよかった。

意見3: ICTが授業の中により入ってきた印象である。ICTやペアワークなどの学習活動を授業にうまく取り入れていた。

意見4: 数人の生徒に声を掛けたが、状況に応じた対応ができていた。また、会釈等をしてくれ、良い印象だった。教員も授業の研鑽に励んでいる様子だった。

(2) 学校の運営方針及び現状について

意見1: 自己効力感について、能力の可変性についても伝えていけると生徒も理解しやすい。努力によって能力は上がるものである。

意見2: スクールポリシーに自己効力感を高めるとあるが、どのようにカリキュラムを編成し、何をもって自己効力感が高まったと判断するか。

⇒授業が分かる、生徒会や部活動の中で積極的に参加していける、または挑戦したことがない活動に挑戦し、自分の力でやり遂げるという経験を通して身に付けていくとは思いますが、何をもって自己効力感が付いたのかを判断することはなかなか難しい。

意見3: 計画的偶発性理論という考えがある。予期せぬ偶発的な出来事は重要であり、目標を絞り込むだけでなく、様々なことに興味を持って活動していくことで知識を蓄えてほしい。一見無駄だと思うことにも取り組んでもらいたい。

意見4: 外部評価は、アンケートをとるだけでなく、回答した人たちも一緒に改善していくというスタンスで取り組んでいけるとよい。

意見5: 若い力を社会は必要としており、若者に早くから力を発揮してもらいたい。目標が明確で早い段階から専門学校で専門的に学ぶという価値観も認めていけるとよい。

意見6: アドミッションポリシーに大学進学があることに少し違和感がある。一人一人の能力、個性に応じた進路実現を一緒に考えていくというスタンスの方がよいのではないかと。

意見7：昨年度は入学志願者が定員を割り込んでいる。中学生が本校に興味をもち、入学してもらうためにどうしていくのかを検討してほしい。

⇒現中学2年生から生徒数が大幅に減る。募集が全県1区になってから岐阜地区への流出が多くなった。私立高校の躍進も一因と思われる。ただ、この状況の中で本校の魅力をどのように伝えていくかは引き続き考えていかなければならない。

意見8：本校のホームページの動画にあるように、在校生が本校を案内していく流れはよい。また、球技大会や清掃活動等の紹介は生徒の人的成長を伝えることができ、親に安心感を与える。ホームページで学校の様子をもっと発信して、保護者や他県の人にもアピールしていけるとよい。フェンシング部やオーケストラ部以外にも何か人を集められる仕組みがあるとよい。

意見9：中学校での部活動が自由参加となり、人や地域とのつながりが薄い生徒たちが高校でどうなるかが心配である。高校生にも地域で活躍できる機会を紹介し、地域とのつながりを増やしていきたい。

意見10：プールについて今後どうしていくのか検討してほしい。

⇒なかなか予算が取れないが、県に伝えていく。

意見11：スマホの使い方を学校と家庭で連携して指導していけるとよい。中には、本人がスマホを使いすぎてやめたいと思ってもやめられない場合もある。スマホの使い過ぎが、将来自分自身にどのような不利益をもたらすか等の情報を学校からも与えていけるとよい。

意見12：ChatGPTの規制をどうしていくのか。

⇒まだ規制等の動きはないが、県へ話題提供する。本校では校内の読書感想文を今年度から任意提出に変えた。

(3) 内規の改定について

・生徒会から制服（靴下の色）を自由化する提案に対して、委員から意見を聴取した。

意見1：華美でない色を認めてよい。

意見2：生徒が発信して、いろいろと変えていくのもよいのではないか。

意見3：自分たちで決めて、自分たちで守っていくという姿勢も大切である。

意見4：生徒には、意見を主張するだけでなく、そのことには責任が伴うことを学んでもらいたい。

6 会議のまとめ

・今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校の運営方針について、各委員から諸々意見はあったが反対意見はなく、概ね了承された。

・提示された意見を参考にして、今後の学校の在り方の模索を続ける。